

「ナノテクノロジーを活用した環境技術の開発に関する検討会」の開催について

平成 20 年 4 月 1 日
研 究 振 興 局
研 究 開 発 局

1. 趣旨

環境問題への対応は、人類の共通した最大の課題であり、科学技術が解決に貢献しなければならない最も緊急性のある課題である。この課題を解決するために、従来から様々な技術開発が進められているが、未だに地球温暖化を食い止める抜本的な技術は確立されていない。

多くの場合、技術を支える材料の機能に依存しており、ナノテクノロジーを活用した技術開発を推進して、飛躍的に性能を向上させることが必要である。

材料を構成する物質の探求のみならず、ナノテクノロジーに立脚する材料の合成技術、構造解析等の技術が融合した技術基盤を確立するとともに、学術分野を連携・融合させ、応用段階のニーズを解決するための一点集中型の研究開発のみならず、様々な分野に共通する基盤技術の開発を行うことが必要である。

このような背景を踏まえ、今後の機能性材料の研究開発の推進方針を検討するべく、標記検討会を開催する。

2. 日程案

6 月中に報告書取りまとめを目指して審議を行い、報告書を科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会ナノテクノロジー・材料委員会及び地球環境科学技術委員会に報告する。

3. 開催期間

本検討会の開催期間は、平成 21 年 3 月末日までとする。

4. 構成員

別紙の有識者を中心に、必要に応じ、各分野の専門家の意見を聴取して検討を行う。

5. 事務体制

本検討会の運営に関する事務は、研究振興局基礎基盤研究課ナノテクノロジー・材料開発推進室で処理する。また、原則として、議事録は公開することとする。

(別紙)

「ナノテクノロジーを活用した環境技術の開発に関する検討会」構成員

池澤 直樹	株式会社野村総合研究所 チーフ・インダストリー・スペシャリスト
射場 英紀	トヨタ自動車株式会社 技術総括部担当部長
魚崎 浩平	北海道大学 大学院理学研究院教授
小長井 誠	東京工業大学 大学院理工学研究科教授
栗原 和枝	東北大学 多元物質科学研究所教授
黒田 一幸	早稲田大学 理工学術院先進理工学研究科教授
河本 邦仁	名古屋大学 大学院工学研究科教授
田井 一郎	株式会社東芝 執行役上席常務 研究開発センター所長
田中 一宜	科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー
西村 睦	物質・材料研究機構 燃料電池材料センター長
橋本 和仁	東京大学 大学院工学系研究科／先端科学技術研究センター教授
安井 至	科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー
安岡 善文	国立環境研究所 理事
山本 巖	三菱化学株式会社 執行役員 イノベーションセンター長

(参考)

開催スケジュール (案)

第1回検討会 4月11日(金) 17:00～19:00 研究振興局会議室

- ・ 主査選任
- ・ 趣旨説明
- ・ 有識者からの話題提供 JST田中上席フェロー

第2回検討会 4月21日(月) 10:00～12:00

- ・ 有識者からの話題提供

※4月中下旬に専門家による海外実地調査予定(米ローレンス・バークレー研究所等)

第3回検討会 5月8日(水) 13:00～16:00

- ・ 有識者からの話題提供 山梨大学 渡辺教授ほか
- ・ 海外実地調査報告

第4回検討会 6月4日(水) 13:00～16:00

- ・ 有識者からの話題提供

第5回検討会 6月25日(水) 15:00～18:00

- ・ 検討会報告書(一次案)について

第6回検討会 7月上旬

- ・ 検討会報告書とりまとめ